

桜川に遡上するサケについて学びました

～第10回千波湖環境学習会～

当協会では、水戸市との協働事業として、体験しながら環境問題について考える「千波湖環境学習会」を開催しています。2022年度最終回の第10回は、「卵からふ化したサケの稚魚を桜川に放流しよう」をテーマに2月5日（日）に、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施した上で開催しました。天候にも恵まれ、101名の方々が参加されました。

当日は、千波湖好文カフェ前の親水デッキでの開会式の後、まず、サケクイズで桜川に遡上するサケについて学習しました。サケの稚魚が海へ出てからどこへ向かうのか、産卵のため何年でふるさとの川に戻ってくるのかなどの質問に子供たちは元気に手を挙げて答えていました。

近年サケの来遊数は海水温上昇などの影響を受け全国的に減少しており、2022年は特に本州太平洋側で少なく、桜川でも遡上はほとんど確認されませんでした。そんな中、一般社団法人岩手県さけ・ます増殖協会様よりサケの卵をご



サケクイズに答える子供たち



興味深げに稚魚に見入る子供たち

提供いただき、ふ化させました。今回の学習会では、放流するには稚魚の生育がまだ不十分だったため、放流の代わりに参加者たちに稚魚を持ち帰ってもらい育ててもらうことになりました。子供たちは一匹ずつ稚魚を容器に受け取り、育て方を教わりました。十分大きく育ったサケはアクアワールド茨城県大洗水族館様で展示されます。

2022年度の学習会は、全10回で延べ約2,008名の参加者があり、多くの皆様に千波湖周辺の環境について、体験を通じて楽しく学習していただけたものと思います。学習会の運営のため、講師としてご協力、飲み物等の提供やスタッフとしてご協力を頂きました事業所等の皆様には、心より感謝申し上げます。

今回、提供品等ご協力をいただきました、ありがとうございます。

消毒スプレー：花王株式会社様

お菓子：東部燃焼株式会社様、飲料：有限会社元クリーン様

2022年度千波湖学習会の協賛事業所（敬称略）ご協力いただきありがとうございました。

- ・(有)アルファサービス
- ・(株)いばらき環境改善
- ・茨城生物の会
- ・いばらく乳業(株)
- ・いばらきコープ生活協同組合
- ・(株)エコツアー技術研究所
- ・econet いばらき
- ・花王(株)鹿島工場
- ・環境ウィザード(株)
- ・逆川こどもエコクラブ
- ・サラヤ(株)
- ・(株)ジーエスケー茨城
- ・大東建託(株)
- ・中央技術(株)
- ・東部燃焼(株)
- ・(有)沼田クリーンサービス
- ・根崎解体工事(株)水戸リサイクルセンター
- ・(株)ノーブルホーム
- ・(有)元クリーン
- ・(株)フットボールクラブ 水戸ホーリーホック
- ・丸太建設(株)
- ・一般財団法人水戸市公園協会
- ・水戸ヤクルト販売(株)
- ・学校法人緑丘学園水戸英宏小中学校
- ・(株)ユーゴー（クリーニング専科）
- ・(有)リビング館ホンダ